

平成19年度決算報告

平成19年度の益城町一般会計および特別会計の決算が、9月定例議会で承認されました。

全国的に厳しさを増す財政状況の中、わたしたちの豊かで明るい暮らしと、福祉の充実を最優先に考え、限られた財源を効率的にさまざまな事業に有効に使われました。

一般会計では、歳入総額98億9,546万4千円に対し、歳出総額は、92億3,773万1千円で、繰越事業分(1億2,965万6千円)を除く歳入歳出差し引き額は5億2,807万7千円の残額となりました。しかし、平成18年度の実質的収支額5億4,231万6千円を差し引くと、単年収支額は1,423万9千円の赤字となりました。

また、歳入歳出を前年度と比較すると、歳入で12億324万2千円(13.8%)、歳出で11億855万5千円(13.6%)とそれぞれ増加しています。

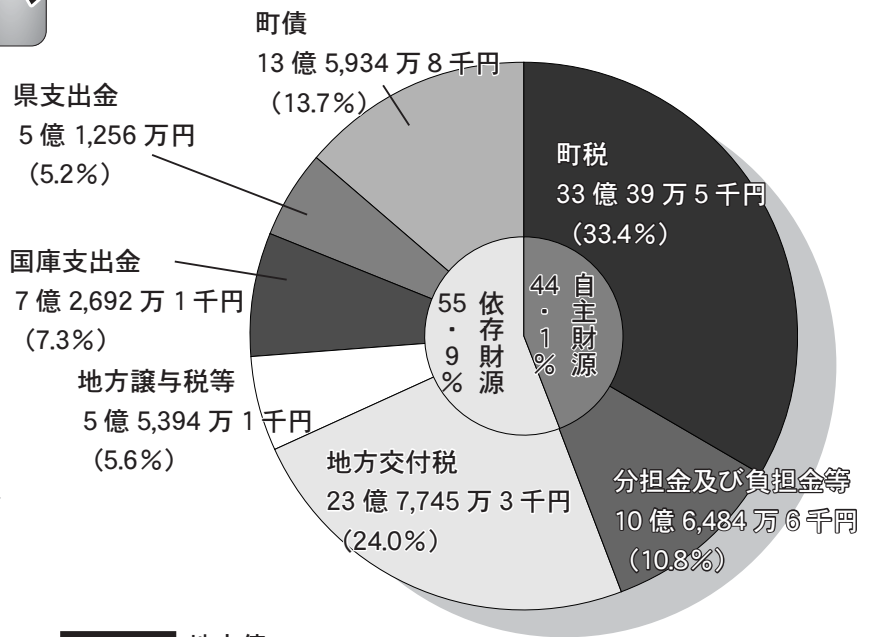
歳入

歳入では、町税が全体の33.4%を占め、前年度よりも3億4,546万2千円(11.7%)、地方交付税は24%で370万1千円(0.2%)の増加となりました。

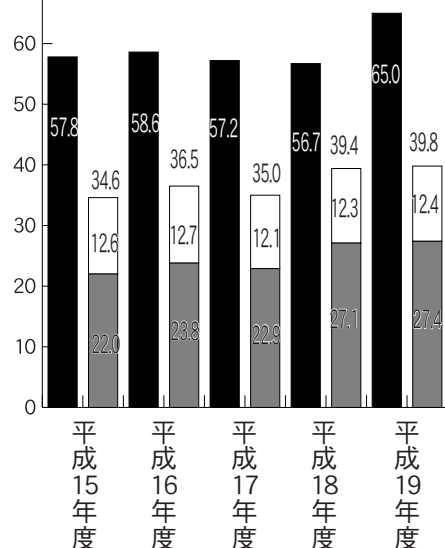
また、町税や町の施設の使用料など町が独自に調達できるお金(自主財源)は、前年度より2億2,188万3千円(5.4%)の増加となり、全体の44.1%になりました。

それに対し、地方交付税など国や県から町に入ってくるお金(依存財源)も前年度よりも9億8,135万9千円の増加で、全体の55.9%となりました。

歳入総額
98億9,546万4千円



過去5年間の地方債と基金の残高推移



- 地方債
- 一般財源基金
 - ・財政調整基金
 - ・減債基金
 - ・公共施設整備基金
- 特定目的基金
 - ・ふるさと基金
 - ・土地開発基金
 - ・社会福祉振興基金など

町民一人あたりの額

◆地方債(借金)
約195,990円

◆基金(貯金)
約120,006円